

柏市ダブルデッキ・ライブラリーフェス

シールアンケート報告

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (ARG)

より幅広い市民の方々に「柏市図書館あり方」策定のプロセスにご参加いただくことを目的に、柏駅ダブルデッキ・ライブラリーフェスにおいて、シールアンケートを実施しました。

シールアンケートには子どもたちからシニア世代まで幅広い世代が参加し、492票が投じられました。図書館の基本機能にプラスしてとして市民が求めるものは、多様な市民のニーズを反映して分散したものとなりましたが、その中でもっとも多い65票を集めて1位となったのは、「ローカルベース」（柏市の情報と人が集まり、賑わうところ）でした。続いて「リトリート」（なんにもしないで心と体をリフレッシュ）と「ミライへ」（子どもたちを見守り、未来をつなぐ）がともに57票を獲得して2位となりました。

地域の情報や人が集まるコミュニティのハブとしての図書館には、本を借りる目的がなくても自然と市民が集まって思い思いに過ごす中で、自然と多世代交流が生まれ、柏市に愛着やプライドを持った次の世代の子どもたちが育っていく……そんな図書館像の一端が垣間見えるような投票結果となりました。

今回のシールアンケートの結果は、今後のワークショップで行われる対話の中でさらに深めていき、「柏市図書館のあり方」に反映させていきます。ワークショップに多くの方々が参加いただきますようお願いいたします。

日時： 2018年10月5日（金）13:00～17:30 ※風雨のため切り上げ終了

2018年10月6日（土）10:00～17:00

場所： 柏駅ダブルデッキ・ライブラリーフェス 会場

実施方法： 「柏市の未来の図書館はどんな場所であってほしいか？」図書館の基本機能にプラスして、図書館でできたらいいと思うことを、会場に設置されたポスターに記載された12のキーワードのなかから最大3つまで選んで、シールを貼って投票していただきました。3枚のシールは分散させて3つのキーワードに貼っても、同一のキーワードに3枚貼ってもよいこととしました。

11月5日



11月6日



ローカルベース

柏市の情報と人が集まり、にぎわうところ



65 ^{1位} 票

5日 (金) 34票
6日 (土) 31票

ガレージ

自分で使う情報やモノを自分でつくる



27 票

5日 (金) 11票
6日 (土) 16票

コラーニング

みんなで同じ場をわかち合い、共に学びあう



41 票

5日 (金) 22票
6日 (土) 19票

日常の安心安全

災害の記録を保存して、日頃から備える



35 票

5日 (金) 20票
6日 (土) 15票

書斎

ひとりで仕事や創作に集中する



50 票

5日 (金) 25票
6日 (土) 25票

リトリート

なんにもしないで、心と体をリフレッシュ



57 ^{2位} 票

5日 (金) 13票
6日 (土) 44票

編集室

資料の提供だけでなく、情報の発信もできる



24 票

5日 (金) 11票
6日 (土) 13票

コワーキング

事務所や会議室を共有しながら働く



26 票

5日 (金) 8票
6日 (土) 18票

ゲームセンター

遊ぶように学んだり、遊びながら学んだり



31 票

5日 (金) 9票
6日 (土) 22票

ギフト

与えられるだけじゃない、つながる場所



28 票

5日 (金) 17票
6日 (土) 11票

カルチャー commons

興味や関心を、発信して共有する



51 票

5日 (金) 16票
6日 (土) 35票

ミライへ

子どもたち見守り、未来をつなぐ



57 ^{2位} 票

5日 (金) 25票
6日 (土) 32票

シールアンケートとあわせて、図書館へのご意見・ご要望を自由に付箋に描いてはっていただく機会も用意しました。付箋に書かれた意見は以下の通りです。

<図書館のあり方について>

- ・ 文化の番をするまちになってほしい。老若・子どもも楽しめる、美しいまちになりますように！
- ・ 気軽に行ける（家族で行ける）図書館がいい
- ・ 交流できる場所になってほしい
- ・ 大人と子どもが交流できる図書館
- ・ 大人向け講演会の開催等をお願いしたい
- ・ 絵本や児童書の面白さを大人にも伝えられる図書館があれば
- ・ 宣伝をもっとしたほうがよい
- ・ これからの図書館職員はもっと外にでなければいけない

<子どもや児童生徒のために>

- ・ 沼南公民館のような学習スペースを各近隣センターに。空き部屋を解放して!!
- ・ 学習スペースの確保をお願いしたい
- ・ こども図書館がもっと近くにあれば
- ・ こども図書館をもっと利用しやすく。大型絵本の貸し出しをしやすく
- ・ 子どもにプロの演劇や人形劇を観る機会を！都内の図書館ではそのようなイベントが行われています。ミニシアターなど、子どもがワクワクできる場所がほしい！
- ・ 各近隣センターに図書室があるのがよいと思っているので続けてほしい。特に育児中は助かる

<資料を充実させる>

- ・ 蔵書を充実したものにしてほしい。たとえば明治期のもの
- ・ ちゃんと本をそろえて守る。貸し出しをする。その基本のために予算を使いなさい。それが図書館です
- ・ 蔵書を充実させる
- ・ 新聞は全種あればよいと思う
- ・ 電子データ化してほしい
- ・ デジタル資料の充実した場所

<図書館の立地場所>

- ・ 駅近くに図書館を！
- ・ 駅に近い図書館がほしい
- ・ 駅前に本館を！！
- ・ 駅前に大型図書館がほしい！
- ・ 駅前（そごう跡地とかに）夜9時ごろまで使える図書館があったらよいと思います。
- ・ 夜間受け取りができる場所がほしい
- ・ ブックポストを駅やコンビニに！
- ・ 駅前ばかり便利にするな！敢えて、ちょっと不便な場所へ

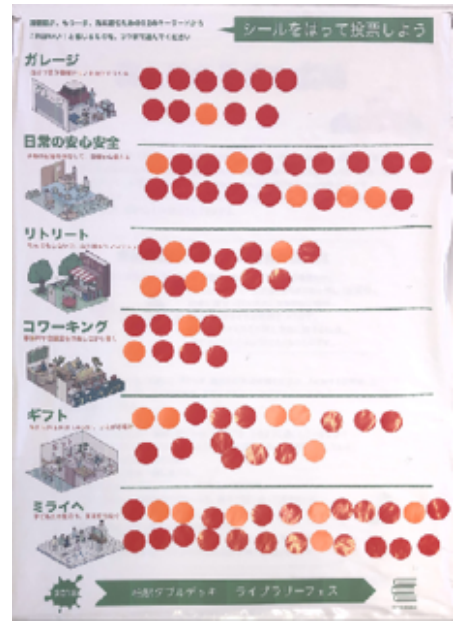
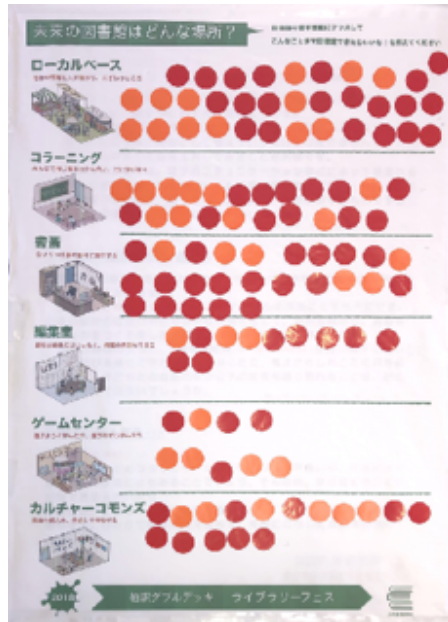
<本館について>

- ・ 本館は家から遠くて行けない
- ・ 本館の1階にイスがもう少しあると便利です
- ・ 1Fの屋根の上を11:00～14:00は休憩室に。テーブルとイスを
- ・ プラネタリウムはどうなるの？

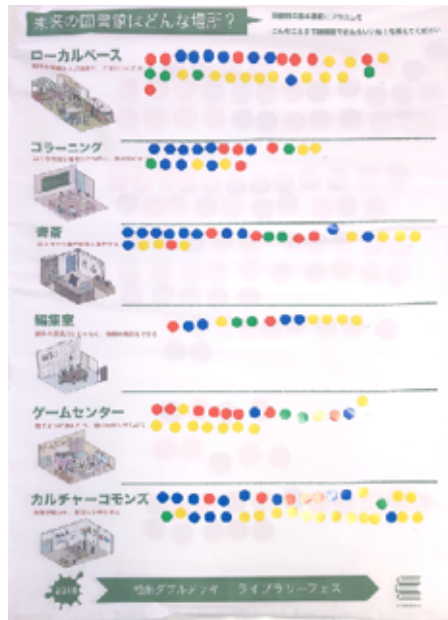
<分館について>

- ・ 分館にも本のがわかる司書が必要
- ・ 工事のための休館が3週間は長い。新しくするのも一案ではないか

11月5日



11月6日



2日間共通



未来の図書館はどんな場所？ ①

ローカルベース

柏市の情報と人があつまり、にぎわうところ



地域の図書館にとって、郷土資料はそのまちにしかない特別なコレクション。そんな郷土資料コーナーを、人がたくさん集まる場所にしたい。

地域の情報が集まるこの場所に来れば、自分のまちの魅力に気がつけるはず。

カラーニング

みんなで同じ場をわかち合い、共に学びあう

カラーニングスペースにはさまざまなグループが集まって、教え合ったり、議論し合ったりします。

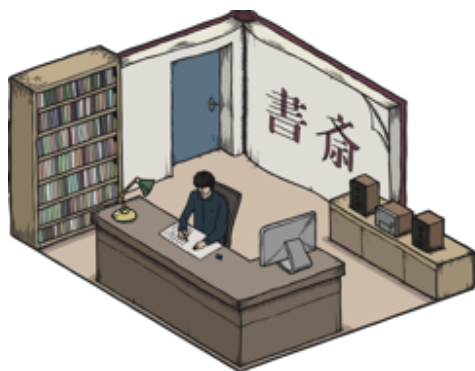
仕切りはほとんどなく、他のグループの話し声も聞こえてきます。

ほどよいざわめきが創造性をくすぐり一人では気づかなかった発見に出会えるはず。新しい学びはこのような場から育まれます。



書斎

ひとりで仕事や創作に集中する



図書館にある「書斎」を一定の期間借りられるとしたら？

本棚を好きなように読むことができる。大きな机と落ち着いた照明。独りで籠もることができる静かな空間。好きな音楽をかけても大丈夫。

編集室

資料の提供だけじゃなく、情報の発信もできる

さまざまな情報や資料を持つ図書館と所蔵資料を把握している司書の力は、調べものをしたり、情報を編集するときの心強い味方。

ウィキペディアの編集や、地域のフリーペーパーなどをつくる上でも、図書館は最適な編集室になるのでは？



未来の図書館はどんな場所？ ②

ゲームセンター

遊ぶように学んだり、遊びながら学んだり



図書館でゲームをすることは、いけないことと思われがち。でも、「遊ぶ」ことと、「学ぶ」ことは相反するものじゃなく、「遊ぶように学ぶ」ことも、「遊びながら学ぶ」こともできるはず。

カルチャーcommons

興味や関心を、発信して共有する

図書館は情報や刺激を与えられるだけの場ではつまらない。私たち自身が主役になって、情報を発信したり、表現したり、興味や関心ごと、イベントを通して、カルチャーを共有できる場(=commons)になったら、もっとイキイキした場になるはず。



ガレージ

自分で使う情報やモノを自分でつくる



「モノ」も情報のひとつです。

デジタルからアナログまで、さまざまな工作機械を備えた市民のための工房が図書館にあれば、本にくわえて「モノを読む」力だって図書館で身につけられるようになるはず。

日常の安心安全

災害の記録を保存して、日頃から備える

災害が起きたとき、「避難できるかもしれない」「情報が入るかもしれない」と、多くの人が思い出すのが図書館かもしれません。それならしっかりと受け入れができる体制を常に整えておく必要があります。

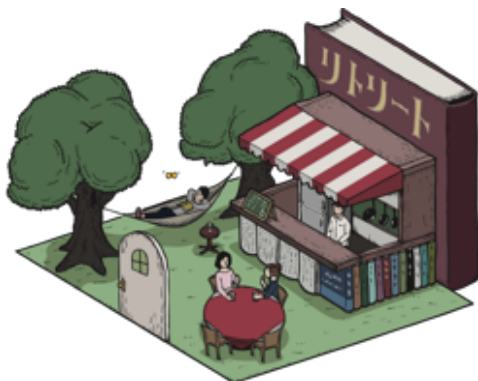
非日常の中で人々を支えられる図書館になるには、日常からの備えが欠かせません。ハザードマップはもちろんのこと、災害のアーカイブを記録し、忘れないように伝えていくことも図書館の大切な役割です。



未来の図書館はどんな場所？ ③

リトリート

なんにもしないで、心と体をリフレッシュ



図書館で「なんにもしない」というのもまた、ひとつのあり方ではないでしょうか。心と体を整える「リトリート」。

毎日に休止符を打つように図書館を使ってみる。

図書館で「なんにもしない」空白に、なにを見つけるかはあなた次第。

コワーキング

事務所や会議室を共有しながら働く

「コワーキング」とは、事務所や打ち合せスペースを共有して仕事をするという働き方。

いろいろな業種の人が同じ場所で働くことで、ジャンルを超えたコミュニケーションが生まれ、斬新なプロジェクトがスタートするというメリットもあります。図書館がコワーキングスペースになれば、便利はずだ。



ギフト

与えられるだけじゃない、つながる場所



本を貸りたり、情報を提供してもらったり、図書館は何かを与えてもらうために行くところであったかもしれませんが、でも、図書館を通して誰かに「本」を贈ることもできるはず。

贈り合えるのは「物」だけではありません。自分が持っている「体力」や「技術」、それから「知識」。図書館をボランティアセンターの拠点として、人の助けを貸し借りすることだってできるかも。

ミライへ

子どもたち見守り、未来をつなぐ

これまでの児童閲覧室が担っていた役割をさらに広げて考えてみたくて、「子どもコーナー」に代わる新しい名前をつけてみました。

同じ空間にいろいろな世代の触れ合いがあってもいいのでは？

まちじゅうの人たちが子どもたちを見守りながら、ともにミライをつないでいく場としての図書館。



未来の図書館はどんな図書館？

メッセージを書いてはってみよう



2018

柏駅ダブルデッキ ライブラリーフェス



柏市教育委員会